

平成30年度第3回精華町社会教育委員会議 会議録

■日時

平成30年8月27日（月）午後1時30分から3時まで

■場所

精華町立図書館1階集会室

■出席委員

- ・清水 眞理子 ・上村 卓三 ・白畑 丈子 ・高鍋 房美 ・吉川 博文
 - ・尾崎 麻由美 ・谷 譲二 ・堀内 保寛 ・村上 栄 ・瓦 俊夫
- （欠席：田中委員）

■出席事務局職員

- ・教育長：太田 信之
- ・教育委員会教育部教育支援室総括指導主事：片山 俊利
- ・教育委員会教育部生涯学習課長：石崎 勝巳
- ・教育委員会教育部生涯学習課社会教育係長：河西 聖子

■傍聴者

なし

■内容

【会議】

1 開会

吉川委員長 あいさつ

- 今年猛暑を越えて、命に係わるような危険な暑さが続いている。いろいろな事業等がある中で、熱中症対策が必要である。
- 校長会から選出の瓦委員が初参加である。

瓦委員 自己紹介

太田教育長 あいさつ

- 町内中学校で2学期からエアコンの運転が開始される。来年夏には小学校も運転できるようにする。
- 社会教育委員の欠員1名を公募していたが、内定した。教育委員会で承認後、次回の社会教育委員会から参加いただく。
- いじめ防止基本方針の改定について、本日まで説明する。ご意見をいただきたい。

2 議事

(1) 精華町いじめ防止基本方針の改定について

片山総括指導主事

- 平成25年に制定された「いじめ防止基本推進法」に基づき、平成26年度に町が策定した。その方針に基づき、各学校でも作成し、いじめ防止に向けて、取り組んできた。
- しかし、その後も全国で重篤な事件も起こっている。それぞれの事象について様々な検証が行われ、これらを踏まえて国や府が改定された。大きな変更はないが、当たり前の対応もしっかりと文字化し、盛り込まれている。
- 町でも細かく記載し、弁護士、臨床心理士などで構成するいじめ防止対策推進委員会やいじめ防止に係る団体の代表に集まっていただき、7月にご意見をいただいた。社会教育委員は村上委員に代表で参加いただいている。
- 新旧対照表を特に参照の上、確認いただき、ご意見をいただきたい。

村上委員

- 先日の会議で説明いただいた。今回はより丁寧に説明がなされている。より多くの目で一人の子どもを見つめていこうとしていると感じる。社会教育委員の立場からも取り組んでいきたい。

(2) 管外研修の振り返りについて

① 6/15 山城地方社会教育委員連絡協議会

高鍋副委員長

- 部落差別についての講演の質疑応答で「逆差別が起きているのも事実だ」との発言があった。「私たちは差別されてきた」と声高に言い、相容れない関係になっているとの発言だった。

吉川委員長

- そのことについて、井手町で社会教育に30年以上関わっておられる中村先生が、後で「そのような率直な意見を聞き、本音で話し合うことが、部落問題解決にとって重要なことだ」と言われていたことが印象的だった。

村上委員

- 部落差別解消法もあり解消されてきたかのようなのだが、まだ結婚問題など根強い差別がある。今度の近畿地区社会教育研究大会で笠置町の発表で、助言をさせていただく。

② 6/24 山城地方PTA指導者研修会・やましろ未来っ子みんなでHUGフォーラム

高鍋副委員長

- 今はみな家庭の問題にしているが、昔は地域で子どもを育てていた。子育てをめぐる問題についてお話があった。

③ 6/26 京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会

村上委員

- 2つ報告があり、学校支援地域本部事業についての彦根市教育委員会から、地域未来塾の実施やコミュニティ・スクールの実施について報告があった。地域コーディネーターが中心になり、細やかに活動されている。もう1つは、文部科学省からで国の動向などの紹介であった。

高鍋副委員長

- 事業の課題としてあげられていた、地域コーディネーターの高齢化、負担感、ボランティアの高齢化、固定化、情報共有などは、精華町も同じだと感じた。

④ 6/29 京都府社会教育委員連絡協議会 総会

吉川委員長

- 京都府社会教育委員連絡協議会の表彰があり、広報華創にも掲載いただいた。

村上委員

- 社会教育委員の役割についての講演があり、地域住民の一員であり、住んでいる地域の課題をしっかりと把握し、生の声を社会教育につなげていくことが大切だという話が印象に残っている。

⑤ 8/7 第2回子育てサポータースキルアップ講座

高鍋副委員長

- 学校・家庭・地域の中で子どもたちの育ちについての講演があった。私たちは「最近の若い人は」という言い方をしてしまうこともあるが、若い人は若い人で「最近の高齢者は」という言い方も聞く。お互いの意見を聞いて取り入れていった方がいい。

(3) 平成30年度近畿地区社会教育研究大会について

- ・ 9月7日（金）午前10時20分～、和歌山県民文化会館で開催される。
- ・ 各自、希望の分科会で申込みができています。概要や集合時刻などを確認。

(4) 精華中学校コミュニティ・スクールの視察について（次回委員会議）

- ・ 9月19日（水）午後1時30分～、精華中学校で行う。
- ・ コミュニティ・スクールの概要説明と健康教室の視察を1時間程で行う。
- ・ 岩井会長、深田校長、村上支援員に対応いただく。
- ・ その後、社会教育委員会を開催する。現地集合となる。

太田教育長

- 精華中学校の状況改善として、コミュニティ・スクールが原動力となったと感じる。これを他の中学校区にどうやって広げていくかが課題である。今は設置が努力義務であるが、形式だけ追うと中身は

空洞化する。歴史のある学校で、苦しんでみんなが立ち上がったという条件が、どの学校でも当てはまるわけではない。どう中学校全てへ広げていくか、問題意識をもって現地視察していただき、またご意見をいただきたい。

吉川委員長

- コミュニティ・スクールはいろいろな形態がある。人事権を持つところもあり、難しい。精華中学校は、「昔行っていた学校をよくしたい。荒れている学校をよくしたい。」という、その思いがうまく活かされた。先生方の協力があつたと聞いている。モデルケースとして、しっかりと視察したい。

瓦委員

- 学校の置かれている環境によって考えないといけないことがある。どのように整理するかがカギになる。精華中学校の取組から学ぶことがたくさんあると思う。

(5) 第45回町民体育大会について

- ・9月9日(日)に東光小学校で開催される。午前7時50分集合で、午前9時開会、午後5時終了予定。運営のお手伝いがある。
- ・今年は23地区(約半数)が参加。参加地区にパンフレットが配布される。

(6) その他

- ・精華町町民健康づくり推進協議会委員として、村上委員を選出。
- ・9月6日、やましろ未来っ子まなび・体験活動サポーター研修会を案内。
- ・今年度の子ども祭りについて。11月18日(日)に、せいかけ祭りと同様開催で、けいはんなプラザで開催する。メインホールで吹奏楽などの文化発表、イベントホールとホワイエで体験コーナーを行う。現在出展者を募集中。次回の委員会で、資料でご報告する。
- ・9月3～5日に、あいさつ運動を実施する。
- ・精華町いじめ防止基本方針のご意見は、9月10日までをお願いしたい。
- ・新社会教育委員は9月1日付で委嘱し、7日の和歌山の研修会から参加いただく。正式には9月19日の社会教育委員でご紹介する。

◎閉会のあいさつ

高鍋副委員長

- 地域力について改めて考える。自分が子どもの時は、学校からの帰り道に地域の方に声をかけてもらった。今はほとんど声をかけてもらえない。特に今年は猛暑でエアコンのため窓を締める。たくさんの大人がたくさんの子どもに声をかけてもらえれば地域力につながると思う。

3 閉会